

効果的な使用時期

●広葉雑草



雑草生育初期の効果

散布日：2006年10月26日
 葉量：アトラクティブ0.03g/m²
 展着剤：サーファクタントWK
 1,000倍加用
 水量：200m²/m²
 処理時の雑草種：
 オオイヌノフグリ
 オランダミミナグサ
 ハルジオン
 ヒメジョオン
 調査日：2007年4月9日
 (処理165日後)



広葉雑草に高い枯殺効果と発生抑制効果を示します

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤とアルカリ性の肥料、農薬などの化学物質とは混用しないでください。
- 本剤はイネ科雑草に対して効果が劣るので、イネ科雑草優占圃場ではこれに有効な処理剤との体系で使用してください。
- 散布液の飛散や流出によって、周辺作物に影響を及ぼすので十分に注意して散布してください。
- 降雨が予想される場合は、使用をさけてください。
- 本剤は遅効性で温暖期においても雑草が完全に枯れるまで30～40日程度かかるので、誤ってまき直しなどしないよう注意してください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 薬剤散布後は散布器具やホース内に薬液が残らないように十分に洗浄してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園・堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

魚毒性等：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
 また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

ユニカスは日本ジュニアgolfer育成協議会(JGC)を応援しています。

■お求めは…

■販売元



丸和バイオケミカル株式会社

ユニカス 事業部

■本 社／〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-19-23
 TEL 03-5296-2340
 ■札幌／TEL 011-222-2305 ■仙台／TEL 022-261-1319
 ■名古屋／TEL 052-951-7235 ■大阪／TEL 06-6484-7222
 ■福岡／TEL 092-712-8330 https://www.mbc-g.co.jp

お問い合わせ窓口／TEL 03-5962-9731 (9時～17時 土日祝を除く)

UNICAS

芝生・緑地管理用除草剤

A アトラクティブ™

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

- 成分／クロリムロンエチル 25.0%
- 包装／150g×6袋

除草剤分類 2

その「魅力」はターフのために



丸和バイオケミカル株式会社

魅力的な! 特長

安定した残効性! 対象の広葉雑草に対して活性が高く、非常に安定した残効性を有します。

卓越した適期幅と高い殺草力! 日本芝内の広葉雑草の発生前から生育期まで極めて安定した効果を発揮します。散布が遅れた場合も、高い殺草効果を示します。

温度に左右されない効果 効果の発現に温度の影響を受けにくい特性を持っていることから、晩秋、早春に発生する雑草にも高い効果を発揮します。

日本芝に対する高い安全性 春期、秋期の芝生育期に高い安全性を有するとともに、萌芽期にも使用できます。また根系やランナーの伸長（ターフの形成）にもほとんど影響がありません。

使いやすい顆粒水和剤 薬剤調製時の粉立ちが少ない顆粒水和剤です。また使用薬量も0.02～0.04g/㎡（日本芝）と比較的少なく、使いやすい製剤です。

成分、性状、物理化学的性状

成 分		クロリムロンエチル 25.0%
物理化学的性状	性 状	淡褐色水和性細粒
	水溶解度	8.55mg/ℓ (20℃ pH5.29)
	土壌吸着係数 (Koc)	61.5～69.8 (25℃±1℃)

人畜・環境への安全性

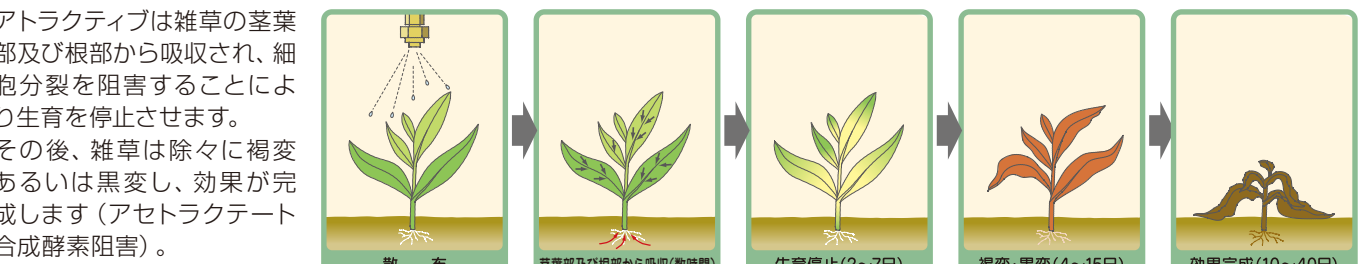
アトラクティブは人畜に対する安全性が高い、使いやすい薬剤です。人畜毒性は「普通物※」です。 ※毒劇物に該当しないものを指している通称	人畜毒性(製剤)：普通物	ラット ラット	LD ₅₀ (経口) > 5,000mg/kg LD ₅₀ (経皮) > 2,000mg/kg
	魚毒性等(製剤)	コイ オオミジンコ 緑藻	LC ₅₀ (96h) > 1,000mg/ℓ EC ₅₀ (48h) 341mg/ℓ ErC ₅₀ (72h) 0.0191mg/ℓ

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	クロリムロンエチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	—	一年生及び多年生広葉雑草	雑草発生前～生育期	0.02～0.04g/㎡	200ml/㎡	3回以内	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	3回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地のり面、鉄道 等	一年生及び多年生広葉雑草	雑草発生前～生育初期	0.04～0.08g/㎡	100～200ml/㎡		植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壌散布	

※ 本表に作物名「樹木等」と記載していますが、本剤は直接樹木に使用するものではありません。本表の適用場所、使用方法、注意事項に従って、樹木や花などの有用な植物に影響を与えないよう注意してください。

効果の流れ



殺草スペクトラム表 (公財)日本植物調節剤研究会委託試験及び社内試験より 効果：●極大 ○大 △中 △小 ×効果なし

雑草名	科	発生前	生育初期	雑草名	科	発生前	生育初期
メマツヨイグサ	アカバナ科	●	●	ブタクサ	キク科	●	●
タネツケバナ	アブラナ科	●	●	ヨモギ	キク科	●	●
ナズナ	アブラナ科	●	●	オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	◎～●	◎～●
オオバコ	オオバコ科	●	●	タチヌノフグリ	ゴマノハグサ科	○～●	○～●
カタバミ	カタバミ科	●	△～◎	ヒメオドリコソウ	シソ科	●	●
ハマスゲ	カヤツリグサ科	△	○	ホトケノザ	シソ科	●	●
ヒメクグ	カヤツリグサ科	●	●	スベリヒユ	スベリヒユ科	●	●
アキノノゲシ	キク科	●	◎～●	ギシギシ	タデ科	●	●
オオアレチノギク	キク科	●	●	エノキグサ	トウダイグサ科	●	●
セイタカアワダチソウ	キク科	●	◎～●	コニシキソウ	トウダイグサ科	◎	○～◎
セイヨウタンポポ	キク科	●	●	イヌホオズキ	ナス科	×～○	△
トキンソウ	キク科	●	●	ツメクサ	ナデシコ科	●	●
ノゲシ	キク科	●	●	ノミノフスマ	ナデシコ科	●	●
ハキダメギク	キク科	●	●	コヒルガオ	ヒルガオ科	×～△	●
ハルジオン	キク科	●	●	ヤブガラシ	ブドウ科	○	●
ヒメジョオン	キク科	●	●	カラスノエンドウ	マメ科	●	●
ヒメムカシヨモギ	キク科	●	●	シロツメクサ	マメ科	●	●

日本芝への安全性 (公財)日本植物調節剤研究協会委託試験及び社内試験より

試験内容 薬 量：アトラクティブ 0.04g/㎡（登録最高薬量） 水 量：200ml/㎡
アトラクティブ 0.08g/㎡（倍薬量） 展着剤：サーファクタントWK 2,000倍加用
対照剤 0.045g/㎡（登録最高薬量） 面 積：1区=2㎡、2反復
対照剤 0.09g/㎡（倍薬量） 調査方法：処理後約1週間ごとに約8週間まで、薬害の程度を達観調査した。

春期試験					アトラクティブ		対照剤		無処理区
都道府県	試験場所	芝種	散布日	生育ステージ	最高薬量0.04g/㎡	倍薬量0.08g/㎡	最高薬量0.045g/㎡	倍薬量0.09g/㎡	—
埼玉県	Aゴルフ場	コウライシバ	2006年4月 6 日	萌芽期	△	△	△	△	△
埼玉県	Bゴルフ場	コウライシバ	2006年4月 6 日	萌芽期	△	△	△	△	△
茨城県	自社試験場	コウライシバ	2006年4月20日	生育始期	△	△	△	微	△
埼玉県	Aゴルフ場	ノシバ	2006年4月 6 日	萌芽期	△	△	△	△	△
埼玉県	Bゴルフ場	ノシバ	2006年4月 6 日	萌芽期	△	△	△	△	△
埼玉県	Cゴルフ場	ノシバ	2006年4月 6 日	萌芽期	△	△	△	△	△

秋期試験					アトラクティブ		対照剤		無処理区
都道府県	試験場所	芝種	散布日	生育ステージ	最高薬量0.04g/㎡	倍薬量0.08g/㎡	最高薬量0.045g/㎡	倍薬量0.09g/㎡	—
埼玉県	Aゴルフ場	コウライシバ	2006年9月15日	生育期	△	△	△	△	△
埼玉県	Bゴルフ場	コウライシバ	2006年9月10日	生育期	△	微	△	微	△
茨城県	自社試験場	コウライシバ	2006年9月25日	生育期	△	△	△	△	△
埼玉県	Aゴルフ場	ノシバ	2006年9月15日	生育期	△	△	△	△	△
埼玉県	Bゴルフ場	ノシバ	2006年9月10日	生育期	△	△	△	△	△
埼玉県	Cゴルフ場	ノシバ	2006年9月15日	生育期	△	微	△	微	△

評価基準 △：薬害が全く認められない 微：害徴はわずかに認められるが、生育への影響はなく実用的に全く問題とならない
小：やや強い症状が見られるが回復し、実用上許容できる 中：生育への影響が大きく回復も遅く、実用上問題となる
大：枯死もしくは薬害が著しく生育の回復は極めて困難

アトラクティブは春期の使用においては、萌芽期も含めて薬害の心配はほとんどありません。秋期の使用においても、登録薬量では問題ありません（9月上旬の倍薬量散布で一過性の葉焼け症状を呈していますが、その後の生育には問題ありません）。